

### ✠003 「旧約」の神と「新約」の神

「旧約」「新約」の「約」とは、神と人間とが結んだ「契約」という意味です。

「旧約」「新約」という呼び方は、キリスト教徒から見た場合のもので、イエスが救世主として神から使わされ、人類の罪を贖うために処刑されることで、神と「新しい契約」を結んだと考えました。そして、それ以前の神との契約を「古い契約」と呼ぶようになった。

「旧約」とは、唯一神とイスラエルの民が結んだ契約のことです。イスラエルの民が神に忠誠を誓い、約束を守れば、神はイスラエルの民に祝福と恩恵を与えるというものです。しかし、神の意志に背くようなことがあれば、裁きが下されます。

一方、「新約」では、神と人間とが結ぶ契約は、人間がイエスを神の子と信じるだけで、神から愛と赦しを与えられるとされました。神と契約を結べるのも、イスラエルの民に限らず、イエスを信じる人すべてになりました。

現在では、キリスト教と同じく旧約聖書を聖典とするユダヤ教徒に配慮して、旧約聖書を「ヘブライ語聖書」、新約聖書を「ギリシア語聖書」と呼ぶこともあります。